



CAGLIERO 11

カリエロ



175 2023年 7月

サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



友人の皆さん、

ヴァルドッコからごあいさつを送ります。私たち宣教部門チームは、ヴァルドッコである特別なイベントを締めくくろうとしています。私たちは初めての試みとして、レジナルド・コルデイロ神父指導による研修コースを開催しました。新たな派遣先に数か月、あるいは数年もすでに滞在している、18名の若い宣教師が参加しました。このようなコースになることを私たちは計画していませんでしたが、宣教師たちは新型コロナウイルス蔓延の影響で、通常の9月のコースに参加するためにイタリアへ来ることができなかったのです。

結果は、最終的にとても有益でした。なぜなら、アフリカ諸国とベトナム出身のこの若い会員たちは、すでに宣教を経験しており、彼らにとって研修は単に理論上のことではなく、むしろ現在進行中の宣教の体験を反映しているようでした。

私たちはこのたびも、障害や不利な条件がすばらしい機会、強みになるということを目にしています。

Paolo Senni

■ サレジオ会宣教部門メンバー
パヴェウ・ジェニシェク神父, SDB

聖体と宣教する生活



「教会は聖体に生かされたもの」。2003年、教皇、聖ヨハネ・パウロ二世は、聖体に関する回勅『教会にいのちを与える聖体 Ecclesia de Eucharistia』の冒頭、このように語り出し、教会と聖体の神秘を説明しています。聖体は、歴史を通じて教会を養ってきました。そしてキリストは、聖体を通して、今日も私たちのいのちを養うため、ご自身 - 御からだと御血 - を与え続けておられます。聖体は、本質的に、キリストの受難、死、復活に結ばれています。実際、イエスはご自分の記念として同じように行うよう、弟子たちに求めます。弟子たちがそれを行うとき、イエスはいつの時代も、聖体のうちに、いのちを与えるまことの現存となってくださるのです。したがって聖体は、**キリストご自身**です。キリストに心を奪われましょう！

聖体は、今日の世界にキリストをいつも現存させるよう招かれている**宣教師に力を与えます**。聖体のうちに祝われるキリストの自己贈与は、宣教師を自己贈与へと導きます。宣教師は、神の愛のしるし、担い手となり、人々との関係の中で神の愛を感じさせる者となります。

ドン・ボスコは聖体の聖人でした。その司牧活動の中心的要素、頂点である聖体によって若者たちを教育しました。1875年、南米に向けて出発する最初の宣教師たちにドン・ボスコが与えた勧めの一つは、次のものでした。「扶助者聖マリアと聖体のイエズスへの信心を絶えず勧めなさい」。

現代の聖体の聖人たちを何人が挙げましょう：

- **コルカタの聖テレサ**はこのように言っています。「私たちはご聖体を理解したなら、決して教会を離れることはないでしょう。教会が私たちを離さないのではなく、私たちの心が離れさせないのです。」

- **聖ホセ・サンチェス・デル・リオ**は、メキシコの若者で、14歳のときに殉教し、2016年に列聖されました。ホセの生涯は、聖体のイエスへの熱烈な愛を生きるものでした。自分を捕らえた人々に、信仰を棄てるか、さもなければ処刑されるか、と言われると、ホセは答えました。「ぼくの信仰は売り物じゃない。」

- **福者カルロ・アクーティス**は、イタリアの若者、15歳で亡くなり、2020年に列福されました。聖体が生活の中心だったので、これほど若くして聖性に達しました。カルロのスローガンは、「ご聖体は、天国へのぼくの高速度」。

■ ローマ、教皇庁立サレジオ大学
聖書学教授
シャジ・ブイクネル神父, SDB



振り返りと 分かち合いのために

青少年との関わりを通して聖体との関わりを深めるには、どうすればよいだろうか？

聖体を頂くことによって、私は人々に仕え、人々と共に仕える生き方へ、どのように導かれているだろうか？



パキスタンの若者に必要なものは？

ファラズ、今月のテーマは「聖体を中心に生きる」です。聖体は、あなたの生き方にどのような影響を与えていますか？

修道者として、聖体は私の生活の中心です。主 - 自分が従うことを選んだ方のまことの現存を、私はご聖体のうちに見ます。秘跡としての聖体によって、主は私の生活のうちに毎日、現存する方となります。さらに、聖体によって、共同体の兄弟たちだけでなく、全サレジオ家族と、聖なる教会の信仰者皆と、たとえ何千キロも離れていようと、交わりのうちに一つになれるのです。

今日、パキスタンの若者が最も必要とするものは何ですか、そして私たちは、どうすれば若者たちを助けることができますか？

私思うに、ちょうどドン・ボスコが1800年代のトリノの若者にとってそうであったように、パキスタンの若者は、彼らにとって先生、父、友、教育者となる人を必要としています。毎日、差別、迫害、自由の侵害に直面しているにもかかわらず、パキスタンの若者は、良いキリスト者、誠実な市民になる大きな可能性を秘めています。そのような環境で生き抜くために、若者たちはよりアカデミックな教育と共に、手に職をつける必要があります。この点でも数多くの壁があります。有効な教育を受けるために必要な人間的、経済的な手段にキリスト者がアクセスすることが難しいからです。

養成中の若いパキスタン人サレジオ会員として、パキスタンでのサレジオ会事業の未来を、特に、宣教事業のリーダーだったガボ（ガブリエル・クルス・トレホ）神父がパキスタンから強制退去させられた今、どのように見えていますか？

養成中の若いサレジオ会員として、パキスタンでのサレジオ会事業の未来は実り豊かで、大きく広がり、主に祝福されると思っています。なぜなら、パキスタンで私たちが行っていることはすべて、神のより大なる栄光と靈魂の救いのためだからです。神は、達成すべき使命を人に託されるとき、それを果たすために必要な手段も必ずくださるということを、強調したいと思います。ガボ神父もそうでしたが、パキスタンのサレジオ会は、ゆだねられた神の使命を遂行しています。人的資源と物的手段の両方において、神の摂理に全面的に頼るという、ドン・ボスコの取り組み方に倣っています。サレジオ会は、高いレベルの技術的、またアカデミックな教育を提供します。それは継続的に支援してくださる多くの支援者のおかげでもあります。このようにして、皆さんの協力を得て、パキスタンの若者のためにしっかりとした未来を築くことができます。

最後をお願いします、パキスタンのサレジオ会事業のため、どうぞお祈りください。



ファラズ・マシー, SDB

私はパキスタンのクェッタ近郊のピシンに、とても信仰深い6人家族の家庭に生まれました。私の修道者としての召命に根本的な役割を果たしたのは、神様に次いで、母だったと言えます。毎日、日の出前と日の沈む前に、私は母と一緒にロザリオを祈りました。そのことによって、私のイエスへの愛と聖母への信心に火がつかしました。

後に、ドン・ザゴが初期養成のため私をフィリピンに送り、今、私はイタリアにいて、クロチェッタで神学を学んでいます。



聖体の秘跡のさまざまな名称

フォーラム

聖体の秘跡の豊かさは、そのさまざまな側面を思い起こさせるさまざまな名称によって表現されています。最もよく耳にする名称は次のものです：

エウカリスチア
ミサ聖祭
主の晩餐
聖なるいけにえ

コミュニオン（一致の交わり）
聖体祭儀
聖なる秘義
主の受難、死、復活の記念

聖なる神的典礼
パンを裂く
祭壇の最も聖なる秘跡



<https://stpetermadison.org/eucharist>

7月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

聖体を中心に生きるために

パキスタンのすべての信徒に、
秘跡にあずかる機会が与えられますように。

カトリック教徒が、聖体祭儀を人生・生活の中心とし、それによって人間関係を深く変容させ、神との出会い、すべての兄弟姉妹との出会いに心を開きますように、祈りましょう。

｜ 教皇フランシスコの祈りの意向 ｜

パキスタンの
ために

